

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ラオウ®

1キロ粒剤 ジャンボ フロアブル

水田除草の 勝者と 成る。



4成分で除草を制す。

ノビエ

ホタルイ

オモダカ



- 有効成分：タイムロン…6.0% (1キロ粒剤)、24.0% (ジャンボ)、11.3% (フロアブル)
 フェノキサスルホン…1.5% (1キロ粒剤)、6.0% (ジャンボ)、2.8% (フロアブル)
 フェンキノトリオン…2.5% (1キロ粒剤)、10.0% (ジャンボ)、4.7% (フロアブル)
 ペンシルフロノメチル…0.75% (1キロ粒剤)、3.0% (ジャンボ)、1.4% (フロアブル)
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指す)という通称)

特 長

- 有効成分「エフィーダ® (一般名：フェンキノトリオン)」を配合した4成分の混合剤です。
- エフィーダ配合により水稲安全性が高く、広葉雑草に幅広く効果を示し、
 特にホタルイなどのカヤツリグサ科雑草に高い効果を発揮します。
- ペンシルフロノメチル配合により多年生難防除雑草に高い効果を示します。
- フェノキサスルホン配合によりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

適用雑草及び使用方法

2021年12月22日現在の登録内容

※各有効成分を含む農業の総使用回数：タイムロン3回以内(移植水稲・育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、2回以内(直播水稲)、フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、ペンシルフロノメチル2回以内

■1キロ粒剤(農林水産省登録 第24579号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			
直播水稲	一年生雑草及びマツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布

■ジャンボ(農林水産省登録 第24580号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回※	水田に小包装(パック) のまま投入する。
		稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			
直播水稲	一年生雑草及びホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			

■フロアブル(農林水産省登録 第24581号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ	移植時	500ml	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			
直播水稲	一年生雑草及びマツバ イ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布

■上手な使い方



■使用上の注意(抜粋)

- 【共通】
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なもので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれかえるので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミズガヤツリ(1キロ粒剤)、ウリカワは2葉期まで、ミズガヤツリ(1キロ粒剤を除く)は草丈10cmまで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始まって、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離(1キロ粒剤)は発生前までが本剤の散布適期です。
 - オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さないもので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
 - 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業は行ないに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に注意して行ってください。
 - 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - 活着遅延を生じるような異常低温の時
 - 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 - 稲穴の戻りの悪い水田
 - 直播水稲に使用する場合は、以下の点に注意してください。
 - 稲の根が露出した条件下では葉害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
 - 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 散布した水田の田面水を他の作物の湛水に使用しないでください。
 - 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 【1キロ粒剤】
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 - 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、畝端の端から5m以上離れて畝内に散布してください。
 - 水源地、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
- 【ジャンボ】
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
 - 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 - 小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均一に投入してください。
 - 藻類・表層はく離・浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が十分になるおそれがあるため、使用はしないでください。
 - バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 【フロアブル】
- 本剤の使用に当たっては、使用前に容器をよく振ってください。
 - 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 無人航空機で原液湛水散布する際は以下に注意してください。
 - 原液湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 原液湛水散布に当たっては噴霧ノズルは使用しないでください。
 - 作業中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないように風の影響等を十分考慮して原液湛水散布してください。
 - 水源地、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 - 散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
 - 畜に対して影響があるので、周辺の養殖にはかからないようにしてください。

詳しい使い方、
登録内容は
こちらから。

1キロ粒剤



ジャンボ



フロアブル



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2021年12月22日現在の知見に基づき作成しています。 2216(22-12)

農林水産省登録 第24579号

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ラオウ®

1キロ粒剤

水田除草の 勝者と 成る。



エフィーダ
(莖葉白化作用)



フェノキサスルホン
(ノビエ残効性)



ベンスルフロンメチル
(幅広い草種に対応)



ダイムロン
(カヤツリグサ科の発芽抑制)

4成分で除草を制す。

ノビエ

ホタルイ

オモダカ



ラオウ® 1キロ粒剤

- 有効成分：ダイムロン……………6.0%
 フェノキサスルホン……………1.5%
 フェンキノトリオン……………2.5%
 ペンシルフロノメチル……………0.75%
 ●人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

特 長

- 有効成分「エフィーダ®（一般名：フェンキノトリオン）」を配合した4成分の混合剤です。
- エフィーダ配合により水稲安全性が高く、広葉雑草に幅広く効果を示し、特にホタルイなどのカヤツリグサ科雑草に高い効果を発揮します。
- ペンシルフロノメチル配合により多年生難防除雑草に高い効果を示します。
- フェノキサスルホン配合によりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

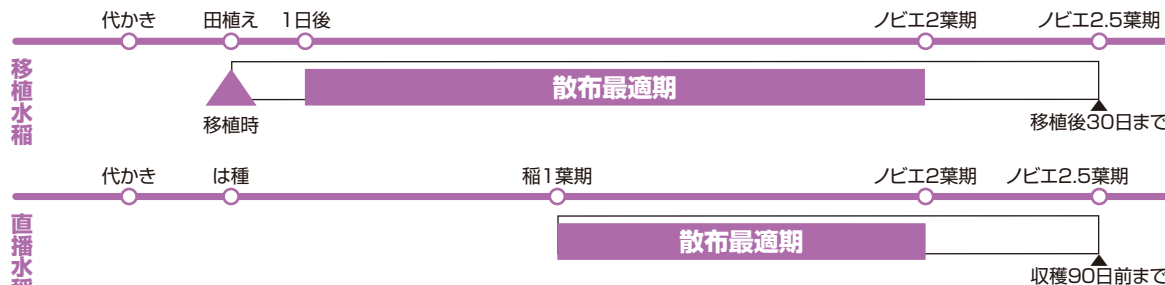
適用雑草及び使用方法

2021年12月22日現在の登録内容

※各有効成分を含む農業の総使用回数：ダイムロン3回以内（移植水稲：育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）・2回以内（直播水稲）、フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、ペンシルフロノメチル2回以内

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			

上手な使い方



△ 使用上の注意

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用するしてください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさしてください。
 - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - 活着遅延を生じるような異常低温の時
 - 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 - 圃場の戻りの悪い水田

- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさしてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
 - 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさしてください。
 - 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れて圃場内に散布してください。
 - 水産池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
 - 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔を石けんでよく洗い、うがいをして衣服を換えてください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷蔵乾燥した場所に保管してください。

詳しい使い方、
登録内容は
こちらから。

1キロ粒剤



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2021年12月22日現在の知見に基づき作成しています。 2157(22-12)

農林水産省登録 第24580号

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ラオウ[®]
ジャンボ

水田除草の 勝者と 成る。



4成分で除草を制す。

ノビエ

ホタルイ

オモダカ



※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

ラオウ® ジャンボ

- 有効成分：ダイムロン……………24.0%
 フェノキサスルホン……………6.0%
 フェンキノトリオン……………10.0%
 ベンスルフロンメチル……………3.0%
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

特 長

- 有効成分「エフィーダ®(一般名：フェンキノトリオン)」を配合した4成分の混合剤です。
- エフィーダ配合により水稲安全性が高く、広葉雑草に幅広く効果を示し、特にホタルイなどのカヤツリグサ科雑草に高い効果を発揮します。
- ベンスルフロンメチル配合により多年生難防除雑草に高い効果を示します。
- フェノキサスルホン配合によりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

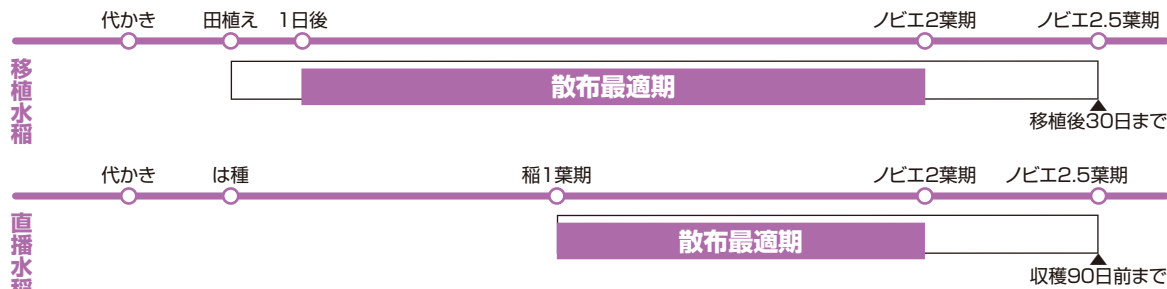
適用雑草及び使用方法

2021年12月22日現在の登録内容

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ダイムロン3回以内(移植水稲：育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)・2回以内(直播水稲)、
 フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、ベンスルフロンメチル2回以内

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	小包装(パック) 10個(250g)	1回※	水田に 小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草及びホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			

上手な使い方



△ 使用上の注意

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワは2葉期まで、ミズガヤツリは草丈10cmまで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
- 藻類・表層はく離、浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、使用は避けてください。
- 以下のような条件下では被害が発生するおそれがあるため使用を避けてください。

- 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
- 活着遅延を生じるような異常低温の時
- 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
- 軟弱苗を移植した水田
- 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 植穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
- 稲の根が露出した条件では被害を生じるおそれがあるので使用を避けてください。
- 除草効果の低下と生育抑制の被害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用を避けてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△ 安全使用上の注意

- 水溶性フィルムで小包装化されているため、濡れた手で触らないでください。
 - 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
 - 眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍乾燥した場所に保管してください。製剤は吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。

詳しい使い方、
登録内容は
こちらから。

ジャンボ



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記憶しましょう。

本資料は2021年12月22日現在の知見に基づき作成しています。 2158(22-12)

農林水産省登録 第24581号

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ラオウ®

フロアブル

水田除草の 勝者と 成る。



エフィーダ
(茎葉白化作用)



フェノキサスルホン
(ノビエ残効性)



ベンスルフロンメチル
(幅広い草種に対応)



ダイムロン
(カヤツリグサ科の発芽抑制)

4成分で除草を制す。

ノビエ

ホタルイ

オモダカ



※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

- 有効成分：ダイムロン……………11.3%
フェノキサスルホン……………2.8%
フェンキノトリオン……………4.7%
ベンスルフロンメチル……………1.4%
- 人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

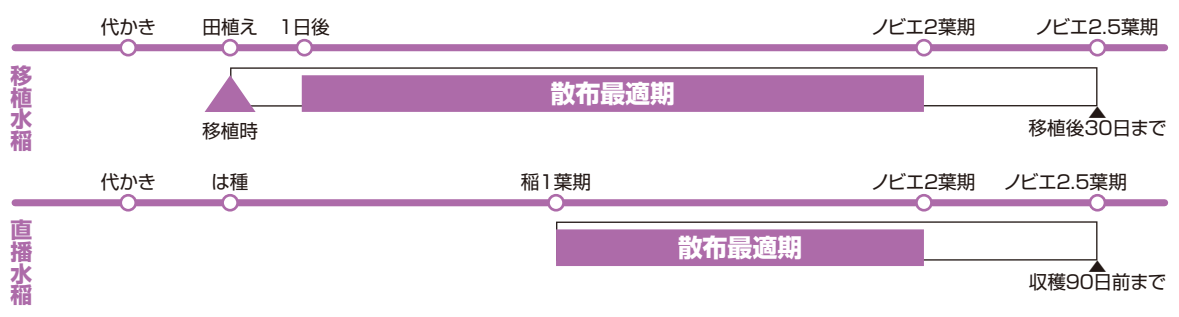
- 有効成分「エフィーダ®（一般名：フェンキノトリオン）」を配合した4成分の混合剤です。
- エフィーダ配合により水稲安全性が高く、広葉雑草に幅広く効果を示し、特にホタルイなどのカヤツリグサ科雑草に高い効果を発揮します。
- ベンスルフロンメチル配合により多年生難防除雑草に高い効果を示します。
- フェノキサスルホン配合によりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

適用雑草及び使用方法

2021年12月22日現在の登録内容

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ダイムロン3回以内（移植水稲：育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）・2回以内（直播水稲）、フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、ベンスルフロンメチル2回以内

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ	移植時	500mℓ	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布又は水口施用
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布



△ 使用上の注意

- 本剤の使用に当たっては、使用前に容器をよく振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれかえるので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワは2葉期まで、ミズガヤツリは草丈10cmまで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始まって、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生ものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態（水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれぬように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 薬液・表面はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布又は水口施用をさせ、本田内で水田全面に散布してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。

- 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
- 活着遅延を生じようとする異常低温の時
- 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）
- 軟弱苗を移植した水田
- 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 植穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
- 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
- 無人航空機で原液湛水散布する際は以下に注意してください。
- 原液湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 原液湛水散布に当たっては噴霧/スリは使用しないでください。
- 作業中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないように風の影響等を十分考慮して原液湛水散布してください。
- 水源地、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
- 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所処理してください。
- 散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で

- 使用する場合は十分に注意してください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△ 安全使用上の注意

- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔を石けんでよく洗い、うがいをして衣服を換えてください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

保管：密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、涼乾燥した場所に保管してください。

詳しい使い方、登録内容は
こちらから。

フロアブル



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 防除日誌を記載しましょう。

本資料は2021年12月22日現在の知見に基づき作成しています。 2159(22-12)